

平成 19 年(2007 年)12 月 18 日

報 道 各 社 様

消費者センター調査指導係 TEL : 728-2111

FAX : 728-2112

平成 19 年度 生活用品需給・価格見通しについて

札幌市では、物価対策の一環として年末年始における生活用品の需給動向及び価格見通しに関する調査を行いましたので、その結果についてお知らせします。

記

1 協力を得た業界団体及び事業者

- (1) カネシメ高橋水産(株) (札幌市中央卸売市場水産協議会所属)
- (2) 札幌食肉卸業協会
- (3) 札幌地方石油業協同組合
- (4) 日糧製パン(株)
- (5) ホクレン農業協同組合連合会
- (6) (社)北海道エルピーガス協会石狩支部
- (7) 北海道製麺協同組合
- (8) 丸果札幌青果(株) (札幌市中央卸売市場青果部運営協議会所属)

2 調査時期

平成 19 年 12 月上旬

(平成 19 年 12 月 14 日、上記団体と価格動向懇談会を実施。)

3 概要

(1) 青果物類

・ 入荷量

生育期の天候の影響などから、前年並または前年比減が見込まれる品目が多い。

- 価格見通し

入荷量の減少が見込まれる品目を中心に、前年比で「やや高値」または「高値」が多いが、昨年は野菜全般が異例に安かったこともあり、例年並の値段に戻したと言える。例年より高値である品目は、れんこん、里いも、みつば、きゅうりの4品目である。

やや高値・高値	前年並	やや安値・安値
(12品目) 生しいたけ、にんじん、れんこん、里いも、みつば、だいこん、きゃべつ、はくさい、ほうれん草、長ねぎ、きゅうり、レタス	(2品目) たけのこ、さつまいも	(4品目) みかん、ごぼう、ばれいしょ、たまねぎ

(2) 水産物類

- 入荷量

水揚げ減少等に伴い、前年比減が見込まれる品目が多い。

- 価格見通し

水揚げが減少した品目を中心に、前年比で「やや高値」または「高値」が多いが、地物のいか、ほたては安定した価格となっている。

やや高値・高値	前年並	やや安値・安値
(9品目) 新巻さけ、味付数の子、いくら、飯寿司、まぐろ、赤えび、たこ、たらばがに、こんぶ	(3品目) はまち、スモークサーモン、板かまぼこ	(2品目) いか、ほたて

(3) 畜産物類

- 価格見通し

全般的に前年より高値傾向が見込まれる。

やや高値・高値	前年並	やや安値・安値
(5品目) 国産牛肉、国産豚肉、輸入豚肉、国産鶏肉、ロースハム	(2品目) 輸入牛肉、輸入鶏肉	(0品目)

(4) その他食料品

- ・ 価格見通し

やや高値・高値	前年並	やや安値・安値
黒豆、生そば、そば粉、 ラーメン	もち米	鶏卵

(5) 石油製品

輸入価格高騰に伴い、「やや高値」または「高値」で推移すると見込まれる。

4 品目毎の詳細

別紙のとおり

なお、当センターでは、12月18日(火)～20日(木)に「年末年始主要食料品小売価格調査」を実施いたします。調査結果については12月28日(金)に公表予定です。

平成19年度 需給・価格見通し

札幌市市民まちづくり局市民生活部消費者センター

品 目		価格見通し (前年度の見通し)	需 給 動 向
青 果 物 類	みかん	安値 (高値)	生育期の干ばつの影響から小玉(M、S)中心となるが、入荷量は前年に比べ約10%の増加が見込まれる。価格は高値だった前年に比べ安値が見込まれる。
	生しいたけ	やや高値 (やや高値)	作況は生育順調で、入荷量は前年並が見込まれる。輸入物(中国産)の需要離れと、国産物の引き合いが強いことから、価格は前年に比べやや高値が見込まれる。
	にんじん	高値 (安値)	作況は各産地とも生育期の天候に恵まれ生育順調で、入荷量は前年並が見込まれる。価格は前年に比べ高値が見込まれる。
	ごぼう	やや安値 (前年並)	各産地とも作付は前年に比べやや増反傾向。作況は各産地とも生育期の天候に恵まれ生育順調、LMサイズ中心で入荷量は前年並が見込まれる。価格は前年に比べやや安値が見込まれる。
	れんこん	やや高値 (前年並)	作況は生育期の天候不順の影響で傷み又は未成熟品が多く、入荷量は前年に比べ約20%の減少が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。
	里いも	やや高値 (やや高値)	作況は各産地とも生育期の高温、干ばつの影響から小玉傾向となり、入荷量は前年並が見込まれる。輸入物(中国産)の需要離れと、国産物の引き合いが強いことから、価格は前年に比べやや高値が見込まれる。
	みつば	やや高値 (やや高値)	各産地とも作付は前年に比べやや減反傾向となり、入荷量は前年に比べ減少が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。
	だいこん	高値 (安値)	各産地とも生育期の干ばつの影響で生育にやや遅れが見られ、入荷量は平年よりやや減少が見込まれる。価格は前年に比べ高値が見込まれる。
	たけのこ (缶詰)	前年並 (前年並)	孟宗筍(中国産)は生育期の天候に恵まれ生育順調。数量・価格とも前年並が見込まれる。
	きゃべつ	高値 (安値)	作況は各産地とも生育期の干ばつと低温の影響によりやや小玉傾向で、貯蔵量は平年並。入荷量は前年に比べやや減少が見込まれる。価格は前年に比べ高値が見込まれる。
はくさい	高値 (安値)	作況は各産地とも生育期の干ばつの影響により品質低下が見られ、入荷量は前年に比べやや減少が見込まれる。価格は前年に比べ高値が見込まれる。	
ほうれん草	やや高値 (前年並)	作況は各産地とも低温、干ばつの影響により生育にやや遅れが見られ、入荷量は前年に比べやや減少が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。	

	ばれいしょ	やや安値 (やや安値)	各産地とも作付面積が増反傾向となり収穫量多く、貯蔵量は平年より多い。作況は各産地とも生育期の天候不順の影響により品質低下が多く見られ、価格は平年よりやや安値が見込まれる。
	たまねぎ	やや安値 (安値)	各産地とも作付面積増加と生育期の天候に恵まれ生育良好となったことで収穫量多く、貯蔵量は前年より多い。価格は前年に比べやや安値が見込まれる。
青 果 物 類	長ねぎ	やや高値 (やや高値)	作況は各産地とも生育期の高温の影響でやや細身傾向となり、入荷量は前年に比べやや減少が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。
	きゅうり	やや高値 (安値)	作況は、重油高騰による栽培ハウスの暖房節約傾向から生育にやや遅れが見られ、入荷量は前年に比べやや減少が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。
	レタス	やや高値 (安値)	作況は各産地とも生育期の天候に恵まれ生育順調で、入荷量は前年並が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。
	さつまいも	前年並 (やや高値)	作況はB級品の発生が多く、正品率の悪い地区が一部に見られるが、収穫量は前年並が予想され順調な入荷が見込まれる。価格は前年並が見込まれる。
水 産 物 類	新巻さけ	やや高値 (やや高値)	道内の秋鮭水揚減少に伴い新巻さけの生産量も減少しており、高値推移。特に大型サイズは品薄のため高値。
	味付数の子	やや高値 (前年並)	輸入原料価格がかなり上昇しているものの、各メーカーの企業努力で前年よりやや高値で抑えられている。
	いくら	高値 (高値)	秋鮭の水揚減に伴い、いくら総生産量も減少。高値推移中。
	飯寿司	やや高値 (やや高値)	加工原料の価格が上昇している中、製品価格は若干の値上げで抑えられており、販売は順調に推移する見込み。
	まぐろ	高値 (高値)	世界的なまぐろ類漁獲規制により日本への搬入量激減。需給バランスが崩れて高値推移中。
	いか	やや安値 (前年並)	いか全般に順調な水揚となっており、やや安値で推移中。年末まで現状維持の見込み。
	赤えび	やや高値 (やや高値)	国際的な引き合いの中で価格形成されることが多い。今年は全般的に生産量が少なく、やや高値で推移する見込み。
	はまち	前年並 (やや高値)	在池量(養殖いけす内の量)が安定しており、価格は前年並で推移する見込み。
	たこ	やや高値 (高値)	全体に品薄感があり、やや高値で推移する見込み。

	ほたて	前年並 (やや高値)	生産数量減少予想のためやや高値を見込んでいたが、貝の成長が良く昨年並の数量を確保したため、価格は安定化。
	たらばがに	高値 (やや高値)	ロシアからの搬入減、世界各国との競争により輸入価格は高値推移中。年末も高値予想。
	こんぶ	高値 (前年並)	全体的に生育状況が芳しくなく生産量も前年比減少しており高値。
水産物類	スモークサーモン	前年並 (高値)	贈答用として定番になりつつあるが相場変動は少なく、価格は前年並で推移する見込み。
	板かまぼこ	前年並 (前年並)	原料価格は多少上昇しているものの、加工メーカーの企業努力により価格は前年並で推移する見込み。
畜産物類	国産牛肉	やや高値 (前年並)	値頃感で人気の米国物が依然高値のため、国内物が値下がりせず高値安定。更に年末需要で和牛上物に高値が見込まれる。
	輸入牛肉	前年並 (やや高値)	一部ヒレ肉のみ高値。豪州物はやや安値だが、人気が無いため売足は遅い。
	国産豚肉	高値 (前年並)	牛肉高値の影響で消費は順調。毎年秋に起きる値下がりが無く、一段と高値で12月入りした。
	輸入豚肉	やや高値 (前年並)	一部肩ロースのみ高値。
	国産鶏肉	高値 (前年並)	輸入物を国産物と偽装販売していた一部業者の件が報道されて以来、国産物が品薄状態になり高値。
	輸入鶏肉	前年並 (やや高値)	米国产チキンレッグのみ品薄気味。
	ロースハム	やや高値 (やや高値)	材料となる豚肉を輸入に頼っており、やや高値。
その他	もち米	前年並 (やや安値)	自主的な作付面積削減と19年産の作柄が芳しくなかった影響で、道内では大きな過剰感はない。しかし全国的には過剰感がある。
	黒豆	やや高値 (やや安値)	大量の在庫があり供給過剰となっているものの、新穀の出回り量は前年を大きく下回る見込みであることから、新物はやや高値が予想される。
	鶏卵	安値 (やや高値)	年末相場では大幅消費増を見込めないため、需給バランスが好転しない場合、価格は前年を下回る見込み。年始相場では全国的余剰傾向が回避されない場合、道内も余波を受け安値での推移が見込まれる。
	生そば	やや高値 (やや高値)	輸入そば粉、麺のつなぎに使う輸入小麦の値上がりにより、価格はやや高値が見込まれる。

	そば粉	やや高値 (やや安値)	輸入そば粉の主力である北米・カナダ産が原油高による生産コスト増で値上がりしたこと、またバイオエタノールの原料となるトウモロコシ等への転作による品薄傾向もあり、価格はやや高値が見込まれる。
	ラーメン	やや高値 (なし)	農林水産省が輸入小麦の政府売り渡し価格を10月から平均10%値上げしたこと、また輸入小麦に連動した国産小麦の値上がりにより、製麺各社が11月以降の出荷価格を値上げしたことから、価格はやや高値が見込まれる。
	小麦粉	高値 (なし)	パンの主要原料である輸入小麦は国際的需給変動、気候の影響及び市場への投機資金流入による高値が続いている。この影響を受け国産小麦も高値となっている。輸入小麦・国産小麦とも、今後も値上がりが見込まれる。
	パン	やや高値 (なし)	小麦粉、油脂など原材料価格上昇により、前年よりやや高値が見込まれる。
石油製品	灯油 ガソリン 軽油		原料の輸入価格がかつてなく高騰しており、高値推移中。 供給量は十分確保されており、価格高騰による需要減退等もあって供給不足の懸念は無い。
	プロパンガス		輸入価格が史上最高値になっており、やや高値で推移すると見込まれる。 供給量は確保されており、供給不足の懸念は無い。

価格見通しの用語基準

前年並＝前年同期比±5%未満

やや安値・やや高値＝前年同期比±5～15%未満

安値・高値＝前年同期比±15%以上